

2012年2月16日

スカパーJSAT 株式会社

「DBJ 防災格付」融資の格付取得について  
～放送・通信事業者としては国内初～

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：高田 真治、以下スカパーJSAT）は、株式会社日本政策投資銀行の「DBJ 防災格付」融資において防災格付を取得しましたのでお知らせいたします。「DBJ 防災格付」融資が放送・通信事業者に適用されるのは国内で当社が初めてとなります。

「DBJ 防災格付」融資は、株式会社日本政策投資銀行が開発した独自の評価システムにより防災及び事業継続対策への取り組みに優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「防災格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資制度です。

スカパーJSAT は社内に設置した「リスクマネジメント委員会」による定期的なリスク評価の中で、防災対応や事業継続計画（BCP）の評価及び対応見直しを積極的に進めてまいりました。また、スカパーJSAT が提供している衛星通信サービスは企業、自治体等におけるBCP対策として幅広くご利用いただいております。

今回の審査では、スカパーJSAT が災害に強い通信衛星の特長を活かし、全国の企業や自治体などの重要なインフラとして事業継続を支えるという、スカパーJSAT が担う重要な社会的使命に基づいた、（1）本社及び主要事業所の耐震免震対策や、重要施設の地理的分散が図られるなど事業継続の基盤となるハード面で抗堪性を確保している点、（2）重要業務継続のため、経営層をトップに社内横断的な事業継続体制を構築し、継続的な訓練やBCPの高度化に取り組んでいる点、（3）衛星通信事業者として「継続すべき業務」を社内で選定しており、事業継続に必要な対応を時系列で整理している点、等が高く評価されました。

今後もスカパーJSAT は、放送と通信という公共性の高いサービスを提供する企業として、自社の防災及び事業継続計画への取り組みを強化すると共に衛星通信サービスを通じて生活の安心・安全を支えてまいります。

「DBJ 防災格付」ロゴマーク



当社は、平成24年2月日本政策投資銀行（DBJ）より防災格付融資を受けました